

# 神奈川県

神奈川県立がんセンター臨床研究所  
がん予防・情報学部

片山 佳代子 監事

## Kanagawa

### 神奈川県の概要

神奈川県は、ご存知のとおり東京都に次ぐ人口規模をほこる自治体です。県庁所在地は県東部に位置する横浜市で、みなとみらい、元町、中華街など多くの有名観光スポットがあります。一方県西部は、小田原市や足柄下郡を含む箱根峠が有名な箱根町など、温泉や山に囲まれた風光明媚で穏やかな田舎ですが、こちらも観光地として近年は外国人観光客でにぎわいをみせています。そして県知事は現在2期目となるご存知、元フジテレビアナウンサーとしてご活躍された黒岩祐治氏です。

### 神奈川県の地域がん登録事業のはじまり

神奈川県立がんセンターは昭和38年4月開業ですが、その7年後の昭和45年に神奈川県の地域がん登録は始まり(当時厚生省:がん研究助成金平山班「人がんの疫学的研究」の助成を受けスタート)非常に古くからの歴史があります。初代の実務者を紐解きますと、井上玲子様(井上真奈美先生のお母様)をはじめ、当時の病院長婦人そして現在も尚現役に頑張っている夏井佐子様と、力強い女性の方々のお名前が挙がって参ります。



神奈川県立がんセンター

今年で年報も39報となりました(平成27年度罹患に係わる登録受理件数は79,577件でした)。また平成24年には当時がん予防・情報学部長だった岡本直幸先生の下、住基ネットを予後情報の照合に使えるようシステムを開発し、現在は22,357件を照合しその内89%の予後を確認できるようにまできています。これも多くの先人たちの地道な努力のお蔭だと感謝しています。↗

今年で年報も39報となりました(平成27年度罹患に係わる登録受理件数は79,577件でした)。また平成24年には当時がん予防・情報学部長だった岡本直幸先生の下、住基ネットを予後情報の照合に使えるようシステムを開発し、現在は22,357件を照合しその内89%の予後を確認できるようにまできています。これも多くの先人たちの地道な努力のお蔭だと感謝しています。↗



神奈川県がん登録室のメンバー

また当がんセンターは平成25年11月に新築、移転し、平成27年12月にはがんセンターに設置されるのは世界で初めての重粒子施設(i-Rock)が開業しています。臨床研究所も今年で30周年となりました。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。



神奈川県がん登録室のようす

### がん予防・情報学部と登録室の紹介

現在、地域がん登録と全国がん登録を実施しているがん登録室は、変わらず臨床研究所がん予防・情報学部に設置されています。がん疫学研究を行うためには、がんの罹患統計は必須項目であり、県のがん対策を立案するため、また県内のがんサーベイランス事業の実施のためにがん疫学研究と登録実務は2つで1つ、昨年4月に山形大学から着任された成松宏人先生のもと新体制で研究、調査、実務の遂行と日々頑張っています。また今年度より(着任は5月)新しい研究員が仲間入りしました。阪口昌彦先生です。皆様どうぞ神奈川チームを今後ともよろしく願い致します。